

郡山普及だより Yes! 農!!!

発行:福島県県中農林事務所農業振興普及部
住所:〒963-8540 郡山市麓山1-1-1
TEL:024-935-1310 FAX:024-935-7030

おめでとうございます! 「(有)仁井田本家・(有)仁井田本家あぐり」さん、 未来につながる持続可能な農業推進コンクールで 東北農政局長賞受賞



左から、仁井田真樹取締役女将、仁井田穩彦代表取締役、
県中農林事務所大波所長、吉田和生酒米耕作係長



自社田における中野式除草機（左下）での除草の様子

郡山市田村町金沢の(有)仁井田本家・(有)仁井田本家あぐりが、「令和3年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」において、「有機農業・環境保全型農業部門」で「東北農政局長賞」を受賞しました。

表彰式が新型コロナウイルス感染症の影響で中止されたため、5月17日に県中農林事務所の大波所長より仁井田穩彦代表取締役へ賞状を伝達しました。

(有)仁井田本家は、平成9年から自社田で農薬と化学肥料を使用しない「自然米」を栽培しており、平成21年には農業生産法人（農地所有適格法人）仁井田本家あぐりを設立し、有機JAS認証も取得しています。

現在は、「自然米」を使用した6次化商品「にいだしぜんしゅ」の開発・販売のほか、農福連携や「田んぼのがっこう」に取り組むなど、消費者に環境保全型農業の情報を発信しています。

農薬は適正に使用し、すぐに記帳しましょう!

残留基準超過事例の多くは、①使用基準違反、②周辺からの飛散、③防除器具の洗浄不足が原因です。農薬を使うときには、①ラベル等で使用基準等を確認し、②飛散防止対策に努めるとともに、農薬を使った後には、③使用した防除器具の洗浄を徹底しましょう。

農薬販売店やインターネット等で、最新の農薬登録情報を確認しましょう!



新指導農業士、青年農業士の紹介



子牛の世話をする増子文恵さん

新 指導農業士 増子文恵さん

令和3年度の新しい県指導農業士に増子文恵さんが認定されました。

増子さんは、郡山市西田町根木屋で経営主であった父亡き後、畜産経営を継ぎ、人工授精師資格を取得し、自ら中心となり和牛繁殖経営を行っています。

その技術は、女性ならではの細やかな育成管理により高い評価を得ており、令和2年度第30回JAグループ和牛育成管理共進会で農林水産省生産局長賞を受賞されました。

今後は、県指導農業士として、中学校の農業体験受入れや食農教育活動の経験を活かした後継者の育成指導や研修等の活動にご協力いただく予定です。



栽培するレタスの前で齋藤幸江さん

新 青年農業士 齋藤幸江さん

齋藤幸江さんは夫の章輔さんが代表取締役を務める株式会社美農然みのぜんの取締役として、「おいしい・たのしい・うれしい食卓に」のもと、トマト、ミニトマトその他多品目の野菜を生産しています。

栽培面では、農薬の使用を減らした野菜作りを目指すとともに、AI灌水システムを活用したトマトの養液土耕栽培の導入等に取り組み、高品質な野菜の生産を目指しています。

また、販売面では、JAの部会での共同出荷に加え、ネット販売やイベントへの出店を取り入れて顧客層を大きく広げています。併せて、地元高校での講演やSNSを効果的に活用した農業や地域の魅力発信等を行っています。

適正施肥に努めましょう!

高品質な農産物を生産するには土作りや適正施肥が重要です。また肥料価格も上がっており、最小限で高い効果を発揮する肥培管理が求められています。

施設野菜などではリン酸過剰などが大きな問題になっていることから、定期的に土壌分析を行うなどして適正施肥に努めましょう!



鳥獣被害対策で電気柵を設置している時は、常に通電するようにしましょう!
ヒモや有刺鉄線は電気柵の効果を低減させるので撤去しましょう!

「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」、今年も開催しています

当事務所では、昨年度より、新規就農者への就農後の技術経営面での助言によるフォローアップや研修会の開催など、農業担い手の確保・育成に向けた取組を重点的に行っています。

今年度も引き続き、就農から5年以内の新規就農者を重点対象者と位置づけて巡回等により栽培管理支援を行うとともに、農業に関する基礎的な知識や技術を習得する研修会を開催しています。

第1回は、6月8日に「農薬適正使用と防除のポイント」について学びました。第2回は、全国指導農業士連絡協議会長の鈴木光一氏を講師に迎え、現地研修を行います。

新たに農業を始めた方、これから農業を始めたい方など、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

詳細は農業振興普及部までお問い合わせください。(電話935-1321)



▶今後の研修会(予定)

	研修内容	講師	開催日	場所
第2回	就農開始と経営発展の歩み	全国指導農業士連絡協議会長 鈴木光一氏	令和4年9月15日(木)	郡山市園芸振興センター
第3回	農業経営管理	(調整中)	令和4年11月	郡山合同庁舎
第4回	野菜・花きの栽培技術 (基礎・ICT等)	福島大学食農学類 准教授 深山陽子氏	令和4年12月	郡山合同庁舎
第5回	土づくり	福島大学食農学類 准教授 二瓶直登氏	令和5年1月	郡山合同庁舎

「ひとつ、ひとつ実現する郡山農業塾」受講生募集!

ふくしま。GAPチャレンジは セカンド ステージ 2nd STAGE に入りました!



郡山地域の第三者認証GAP取得状況
(令和4年4月1日現在)

福島県ではGAP日本一を目指し、消費者に県産品の安全と安心をお届けする取組を支援しています。

郡山地域では、平成30年からこれまで21件の生産者や農業法人が認証GAPを取得しており、そのうち12件がふくしま県GAP(通称FGAP)による認証で、米やトマト、日本なしなど、様々な品目で認証が取得されています。

量販店や直売所でのGAPコーナー設置が進んで来ていることや、福島県オリジナル米の「福、笑い」はGAP認証取得生産者限定で栽培されるため、GAPに取り組む生産者が増えてきています。この機会に、是非、認証GAPの取得を目指しましょう。

認証GAPに興味のある方は、農業振興普及部までお問い合わせください。(電話935-1321)

まずはワンチェック(始業前点検)、ワンアクション(ベルト・ヘルメット着用)で農作業安全

県中農林事務所からのお知らせ

部長挨拶

このたびの人事異動により、農業振興普及部長として着任しました半沢伸治と申します。

県中地方での勤務は、郡山市富田町にあった旧農業試験場に新採用時から5年間と、農業総合センターが郡山市日和田町に開所した平成18年から4年間在籍していましたので、それ以来の3度目となります。専門は「作物」です。

県中地方は、郡山市などの消費地を抱えるとともに交通の要所であることなどから、工夫を凝らした特色ある農畜産業を営む元気な生産者が多い印象がある一方で、次世代の担い手の確保と多様な消費者ニーズに対応した生産体制の構築は、他地域と同様に喫緊の課題となっています。

当地域の農畜産業のさらなる発展のため、震災から10年を機に策定した県スローガン「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」の理念を胸に、関係する皆さんと一緒に、ひとつひとつ精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



就農コーディネーターの紹介

新規就農者の一層の確保に向け、今年度から各農林事務所に福島県農業振興公社の駐在として「就農コーディネーター」が配置されました。県中地方部を担当するのは景山博さんです。

『4月から県中地方部を担当する景山です。関係機関等としっかり連携し、就農希望者の力になれるよう努めてまいります。』



職員紹介

今年度の農業振興普及部は、以下の25名で活動していきます。よろしくお願いいたします。

所属	職名	氏名	
	部長	半沢 伸治	■
	副部長	井出 忠行	■
農業振興課	課長	鈴木 庄一	■
	主査 (キャップ)	雨宮 潤子	■
	主査	鈴木 克典	
	主査	吉田 美文	
	主査	静井 昭明	■
	主査	武藤 景子	
	主事	馬場 聡子	■
	主事	山田 佳恵	
	営農再開 支援専門員	菅野 廣和	

所属	職名	氏名	専門	
地域農業推進課	課長	遠藤 亮子	畜産	
	主査 (キャップ)	萩原 瞳	畜産	■
	主査	高村 博之	畜産	■
	主査	横尾 達也	作物	
	副主査	長澤 梓	作物	
	専門員	荒井 義光	作物	■
経営支援課	課長	大河内 栄	花き	■
	主査 (キャップ)	湯田美菜子	果樹	■
	主査	矢島 清行	野菜特産	■
	主査	原 有	野菜特産	
	主査	早田 正子	野菜特産	
	技師	大森 千明	果樹	
	専門員	佐久間光子	花き	
	専門員	増子 俊明	果樹	

転任者 ■